

# 大学構内の白色の花を付ける植物

クサスギカズラ目ラン科



Photo by Mikoto Kaneko

## ギンラン

*Cephalanthera erecta*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 10～30 cm
- 《備考》 暗い林縁部にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

クサスギカズラ目クサスギカズラ科



Photo by Mikoto Kaneko

## マイヅルソウ

*Maianthemum bifolium*

- 《分布》 日本、ユーラシアなど
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 10～25 cm
- 《備考》 森林内に普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

クサスギカズラ目クサスギカズラ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ユキザサ

*Maianthemum japonicum*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 20～70 cm
- 《備考》 森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

クサシギカズラ目クサシギカズラ科



## オオアマドコロ

*Polygonatum odoratum* var. *maximowiczii*

- 《分布》 北海道～本州
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 60～100 cm
- 《備考》 森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

クサシギカズラ目クサシギカズラ科



## ヒメイズイ

*Polygonatum humile*

- 《分布》 日本、中国、ロシアなど
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 20～50 cm
- 《備考》 湿潤な草原に極稀
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

キンポウゲ目キンポウゲ科



## ルイヨウショウマ

*Actaea asiatica*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 40～70 cm
- 《備考》 森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★

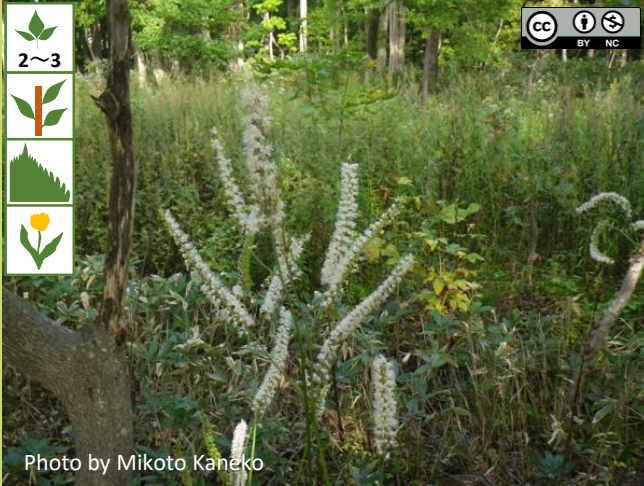
観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

キンポウゲ目キンポウゲ科



## サラシナショウマ *Cimicifuga simplex*

- 《分布》 日本、中国
- 《花期》 8～9月
- 《大きさ》 40～150 cm
- 《備考》 林縁部にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

キンポウゲ目キンポウゲ科



## ニリンソウ *Anemone flaccida*

- 《分布》 日本、東アジアなど
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 15～30 cm
- 《備考》 林縁部にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

ツゲ目ツゲ科



## フッキソウ *Pachysandra terminalis*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮
- 《花期》 5月
- 《大きさ》 15～30 cm
- 《備考》 南縁緑地にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

## ユキノシタ目ポタン科



Photo by Mikoto Kaneko

## ヤマシャクヤク

*Paeonia japonica*

- 《 分布 》 日本、朝鮮
- 《 花期 》 6月
- 《 大きさ 》 30～50 cm
- 《 備考 》 森林の深部に極稀
- 《 観察難度 》 ★★★★★

観察した場所 所見

\_\_\_\_\_

観察日

年 月 日

## ユキノシタ目ユキノシタ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ズダヤクシュ

*Tiarella polyphylla*

- 《 分布 》 日本
- 《 花期 》 6月
- 《 大きさ 》 10～25 cm
- 《 備考 》 森林内に稀
- 《 観察難度 》 ★★★★★☆

観察した場所 所見

\_\_\_\_\_

観察日

年 月 日

## マメ目マメ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ハリエンジュ

*Robinia pseudoacacia*

- 《 分布 》 アメリカ北部
- 《 花期 》 6～7月
- 《 大きさ 》 15～25 m
- 《 備考 》 正門B～Bゲート区間などに植樹
- 《 観察難度 》 ★☆☆☆☆

観察した場所 所見

\_\_\_\_\_

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

マメ目マメ科



## イヌエンジュ

*Maackia amurensis*

- 《分布》 北海道～本州、中国など
- 《花期》 7月
- 《大きさ》 15～20 m
- 《備考》 南縁緑地にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

マメ目マメ科



## シロツメクサ

*Trifolium repens*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《花期》 5～8月
- 《大きさ》 5～30 cm
- 《備考》 路傍に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

バラ目バラ科



## ミヤマザクラ

*Cerasus maximowiczii*

- 《分布》 日本、中国、樺太など
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 5～15 m
- 《備考》 南縁緑地に極稀
- 《観察難度》 ★★★★★★

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

バラ目バラ科



Photo by Mikoto Kaneko

## カスミザクラ

*Cerasus leveilleana*

≪ 分布 ≫ 日本、中国、朝鮮

≪ 花期 ≫ 5～6月

≪ 大きさ ≫ 10～20 m

≪ 備考 ≫ 噴水広場ローンに植樹

≪ 観察難度 ≫ ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

バラ目バラ科



Photo by Mikoto Kaneko

## シウリザクラ

*Padus ssiori*

≪ 分布 ≫ 北海道～本州、樺太など

≪ 花期 ≫ 5～6月

≪ 大きさ ≫ 10～20 m

≪ 備考 ≫ 南縁緑地などに稀

≪ 観察難度 ≫ ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

バラ目バラ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ズミ

*Malus toringo*

≪ 分布 ≫ 日本、朝鮮

≪ 花期 ≫ 5～6月

≪ 大きさ ≫ 2～10 m

≪ 備考 ≫ 健音館周辺などに植樹

≪ 観察難度 ≫ ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

バラ目バラ科



Photo by Mikoto Kaneko

## エビガライチゴ

*Rubus phoenicolasius*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 1～2 m
- 《備考》 温室前林地に極稀
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

バラ目バラ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ノイバラ

*Rosa multiflora*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 1～3 m
- 《備考》 噴水広場などに植樹
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

バラ目バラ科



Photo by Mikoto Kaneko

## アズキナシ

*Aria alnifolia*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 10～15 m
- 《備考》 南縁緑地にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

バラ目バラ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ナナカマド

*Sorbus commixta*

- 《分布》 日本、中国、樺太など
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 5～15 m
- 《備考》 南縁緑地などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

バラ目バラ科



Photo by Mikoto Kaneko

## オニシモツケ

*Filipendula camtschatica*

- 《分布》 北海道～本州、樺太など
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 1.5～2 cm
- 《備考》 林縁部にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

キントラノオ目スミレ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ツボスミレ

*Viola verecunda var. verecunda*

- 《分布》 日本、中国
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 5～25 cm
- 《備考》 森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日



# 大学構内の白色の花を付ける植物

## ブナ目ブナ科



Photo by Mikoto Kaneko

## クリ

### *Castanea crenata*

- 《分布》 日本、朝鮮
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 10～20 m
- 《備考》 噴水広場に植樹
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## フウロソウ目フウロソウ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ゲンノショウコ

### *Geranium thunbergii*

- 《分布》 日本、中国など
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 30～50 cm
- 《備考》 路傍などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## ムクロジ目ミカン科



Photo by Mikoto Kaneko

## ツルシキミ

### *Skimmia japonica var. intermedia f. repens*

- 《分布》 日本、樺太、南千島
- 《花期》 5月
- 《大きさ》 50～100 cm
- 《備考》 南縁緑地にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

アオイ目アオイ科



Photo by Mikoto Kaneko

## シナノキ

*Tilia japonica*

- 《分布》 日本
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 15～20 m
- 《備考》 野外礼拝堂などに普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

アオイ目アオイ科



Photo by Mikoto Kaneko

## オオバボダイジュ

*Tilia maximowicziana*

- 《分布》 北海道～本州
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 15～20 m
- 《備考》 南縁緑地にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

アブラナ目アブラナ科



Photo by Mikoto Kaneko

## タネツケバナ

*Cardamine occulta*

- 《分布》 日本、北半球の温帯
- 《花期》 4～5月
- 《大きさ》 10～30 cm
- 《備考》 建物脇などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

アブラナ目アブラナ科



Photo by Mikoto Kaneko

## コンロンソウ

*Cardamine leucantha*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 30～70 cm
- 《備考》 森林や林縁部に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

アブラナ目アブラナ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ナズナ

*Capsella bursa-pastoris*

- 《分布》 日本、北半球の温帯
- 《花期》 4～5月
- 《大きさ》 10～50 cm
- 《備考》 荒地や路傍に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ナデシコ目ナデシコ科



Photo by Mikoto Kaneko

ブルーリスト掲載種

## コハコベ

*Stellaria media*

- 《分布》 日本、北アメリカなど
- 《花期》 4～5月
- 《大きさ》 10～30 cm
- 《備考》 建物脇などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

## ミズキ目ミズキ科



### ミズキ

*Cornus controversa var. controversa*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 10～15 m
- 《備考》 野外礼拝堂などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## ミズキ目アジサイ科



### ノリウツギ

*Hydrangea paniculata*

- 《分布》 日本、中国、樺太など
- 《花期》 7月
- 《大きさ》 2～5 m
- 《備考》 南縁緑地などに普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## ミズキ目アジサイ科



### ツルアジサイ

*Hydrangea petiolaris*

- 《分布》 日本、朝鮮、樺太など
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 1 m～(蔓性)
- 《備考》 南縁緑地などに普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

ミズキ目アジサイ科



## イワガラミ

*Hydrangea hydrangeoides*

- 《分布》 日本、朝鮮
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 1m～(蔓性)
- 《備考》 野外礼拝堂などに普通
- 《観察難度》 ★★★★★☆☆

観察した場所

所見

\_\_\_\_\_

観察日

年 月 日

ツツジ目エゴノキ科



## ハクウンボク

*Styrax obassia*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 6～15m
- 《備考》 南縁緑地にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★☆☆

観察した場所

所見

\_\_\_\_\_

観察日

年 月 日

ツツジ目エゴノキ科



## エゴノキ

*Styrax japonicus*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 5～10m
- 《備考》 噴水広場側ローンに植樹
- 《観察難度》 ★★★★★☆☆

観察した場所

所見

\_\_\_\_\_

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

## ツツジ目マタタビ科



Photo by Mikoto Kaneko

## サルナシ

*Actinidia arguta*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 1m～(蔓性)
- 《備考》 南縁緑地などにやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## ツツジ目ツツジ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ウメガサソウ

*Chimaphila japonica*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 5～10cm
- 《備考》 成池周辺に稀
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## ツツジ目ツツジ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ドウダンツツジ

*Enkianthus perulatus*

- 《分布》 本州～九州
- 《花期》 5月
- 《大きさ》 1～2m
- 《備考》 中央館前などに植樹
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

リンドウ目アカネ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ククルマバソウ

*Galium odoratum*

- 《分布》 北海道～本州、樺太など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 20～30 cm
- 《備考》 森林内や林縁部に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

リンドウ目アカネ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ツルアリドオシ

*Mitchella undulata*

- 《分布》 日本、朝鮮
- 《花期》 7月
- 《大きさ》 10～40 cm
- 《備考》 暗い森林内にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

シソ目モクセイ科



Photo by Mikoto Kaneko

## アオダモ

*Fraxinus lanuginosa f. serrata*

- 《分布》 日本、朝鮮、南千島
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 10～15 m
- 《備考》 南縁緑などに普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

## シソ目モクセイ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ハシドイ

*Syringa reticulata*

- 《分布》 日本、朝鮮、南千島
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 10～12 m
- 《備考》 B1号館前などに植樹
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## シソ目モクセイ科



Photo by Mikoto Kaneko

## イボタノキ

*Ligustrum obtusifolium*

- 《分布》 中国
- 《花期》 5月
- 《大きさ》 15～30 m
- 《備考》 成池周辺に植樹(?)
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## シソ目サギゴケ科



Photo by Mikoto Kaneko

## シロバナサギゴケ

*Mazus miquelii f. albiflorus*

- 《分布》 本州～九州、中国など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 5～10 cm
- 《備考》 湿潤な草地にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日



# 大学構内の白色の花を付ける植物

キク目キキョウ科



## タニギキョウ

*Peracarpa carnosa*

- 《分布》 日本、中国、千島など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 5～10 cm
- 《備考》 暗い森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

キク目キク科



## フランスギク

*Leucanthemum vulgare*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《花期》 6～8月
- 《大きさ》 30～80 cm
- 《備考》 荒地や路傍などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

キク目キク科



## ミミコウモリ

*Parasenecio kamtschaticus*

- 《分布》 北海道～本州、千島など
- 《花期》 7月
- 《大きさ》 60～120 cm
- 《備考》 森林内や林縁部に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

## キク目キク科



Photo by Mikoto Kaneko

## ノブキ

### *Adenocaulon himalaicum*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 30～60 cm
- 《備考》 森林内に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## セリ目セリ科



Photo by Mikoto Kaneko

## セントウソウ

### *Chamaele decumbens*

- 《分布》 日本
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 5～15 cm
- 《備考》 森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## セリ目セリ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ミツバ

### *Cryptotaenia canadensis*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 20～50 cm
- 《備考》 林縁部に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

## セリ目セリ科



## ノラニンジン

*Daucus carota* subsp. *carota*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《花期》 7～9月
- 《大きさ》 40～100 cm
- 《備考》 路傍に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## セリ目セリ科



## ヤブニンジン

*Osmorhiza aristata* var. *aristata*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 30～80 cm
- 《備考》 森林内に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## セリ目セリ科



## ヤブジラミ

*Torilis japonica*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 30～100 cm
- 《備考》 森林や林縁部にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

セリ目セリ科



Photo by Mikoto Kaneko

## カノツメソウ

*Spuriopimpinella calycina*

- 《分布》 日本
- 《花期》 8～9月
- 《大きさ》 50～90 cm
- 《備考》 森林内にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

セリ目セリ科



Photo by Mikoto Kaneko

## セリ

*Oenanthe javanica*

- 《分布》 日本、樺太など
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 20～80 cm
- 《備考》 湿潤な草地にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

セリ目セリ科



Photo by Mikoto Kaneko

ブルーリスト掲載種

## イワミツバ

*Aegopodium podagraria*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 40～80 cm
- 《備考》 路傍や草地にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の白色の花を付ける植物

マツムシソウ目ガズミ科



## エゾニワトコ

*Sambucus racemosa* subsp. *kamschatica*

- 《分布》 北海道～本州、中国など
- 《花期》 5月
- 《大きさ》 3～8m
- 《備考》 野外礼拝堂などに普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

マツムシソウ目ガズミ科



## オオカメノキ

*Viburnum furcatum*

- 《分布》 日本、朝鮮、樺太
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 1～5m
- 《備考》 南縁緑地に普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

マツムシソウ目ガズミ科



## ミヤマガズミ

*Viburnum wrightii* var. *wrightii*

- 《分布》 日本、中国、樺太など
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 1～2m
- 《備考》 南縁緑地にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

## イチョウ目イチョウ科



## イチョウ

*Ginkgo biloba*

≪ 分布 ≫ 中国

≪ 花期 ≫ 5月

≪ 大きさ ≫ 15 ~ 30 m

≪ 備考 ≫ 清温寮周辺などに植樹

≪ 観察難度 ≫ ★★★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## オモダカ目サトイモ科



## マムシグサ

*Arisaema serratum*

≪ 分布 ≫ 日本

≪ 花期 ≫ 5 ~ 6月

≪ 大きさ ≫ 50 ~ 80 cm

≪ 備考 ≫ 森林内にやや普通

≪ 観察難度 ≫ ★★★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## ユリ目シュロソウ科



## ツクバネソウ

*Paris tetraphylla*

≪ 分布 ≫ 日本

≪ 花期 ≫ 5 ~ 6月

≪ 大きさ ≫ 15 ~ 40 cm

≪ 備考 ≫ 森林内にやや普通

≪ 観察難度 ≫ ★★★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

ユリ目シュロソウ科



## クルマバツクバネソウ

*Paris verticillata*

- 《分布》 日本、中国、ロシアなど
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 20～60 cm
- 《備考》 森林内にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ユリ目シュロソウ科



## バイケイソウ

*Veratrum oxysepalum* var. *oxysepalum*

- 《分布》 日本、北東アジアなど
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 50～150 cm
- 《備考》 湿潤な森林内に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

クサシギズラ目ラン科



## オニノヤガラ

*Gastrodia elata*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 7月
- 《大きさ》 50～100 cm
- 《備考》 森林内に極稀
- 《観察難度》 ★★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

クサスギカズラ目ラン科



## エゾスズラン

*Epipactis papillosa*

- 《分布》 日本、中国、ロシアなど
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 30～60 cm
- 《備考》 林縁部にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

クサスギカズラ目ラン科



## オオヤマサギソウ

*Platanthera sachalinensis*

- 《分布》 日本、樺太
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 40～60 cm
- 《備考》 暗い森林内に極稀
- 《観察難度》 ★★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

イネ目ガマ科



## ガマ

*Typha latifolia*

- 《分布》 日本、温帯に広く分布
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 1～2 m
- 《備考》 水辺にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日



# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

## イネ目イグサ科



### クサイ

*Juncus tenuis*

- 《分布》 日本、ユーラシアなど
- 《花期》 6～9月
- 《大きさ》 20～50 cm
- 《備考》 路傍などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## イネ目カヤツリグサ科



### タガネソウ

*Carex siderosticta*

- 《分布》 日本、東アジア
- 《花期》 5月
- 《大きさ》 10～30 cm
- 《備考》 森林内にやや稀
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## イネ目カヤツリグサ科



### アズマナルコ

*Carex shimidzensis*

- 《分布》 日本
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 50～100 cm
- 《備考》 湿潤な林縁部にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

## イネ目カヤツリグサ科

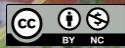


Photo by Mikoto Kaneko

## アブラガヤ

*Scirpus wichurae*

- 《分布》 日本
- 《花期》 8～9月
- 《大きさ》 30～60 cm
- 《備考》 林縁部に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## イネ目イネ科



Photo by Mikoto Kaneko

## クマザサ

*Sasa senanensis*

- 《分布》 日本
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 1～2 m
- 《備考》 森林内に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## イネ目イネ科



Photo by Mikoto Kaneko

ブルーリスト掲載種

## カモガヤ

*Dactylis glomerata*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 10～100 cm
- 《備考》 路傍などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

イネ目イネ科



## スズメノカタビラ

*Poa annua*

- 《分布》 日本、全世界的
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 10～20 cm
- 《備考》 路傍に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

イネ目イネ科



## ハルガヤ

*Anthoxanthum odoratum*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《花期》 4～6月
- 《大きさ》 20～40 cm
- 《備考》 路傍に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

イネ目イネ科



## キンエノコロ

*Setaria pumila*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《花期》 8～9月
- 《大きさ》 20～30 cm
- 《備考》 路傍に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

イネ目イネ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ケチヂミザサ

*Oplismenus undulatifolius*

- 《分布》 日本、ユーラシアなど
- 《花期》 8～9月
- 《大きさ》 10～30 cm
- 《備考》 林縁部にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

キンポウゲ目メギ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ルイヨウボタン

*Caulophyllum robustum*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 40～70 cm
- 《備考》 森林内にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ブドウ目ブドウ科

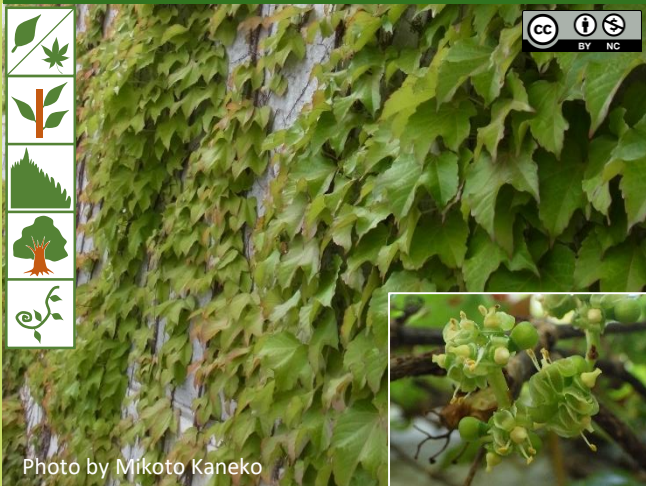


Photo by Mikoto Kaneko

## ツタ

*Parthenocissus tricuspidata*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮
- 《花期》 7月
- 《大きさ》 1 m～ (蔓性)
- 《備考》 高校生グラウンド周辺に植樹
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

ブドウ目ブドウ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ノブドウ

*Ampelopsis glandulosa* var. *heterophylla*

- 《分布》 日本、樺太、南千島
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 1m～（蔓性）
- 《備考》 スキルストラボ棟周辺に植樹
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ブドウ目ブドウ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ヤマブドウ

*Vitis coignetiae*

- 《分布》 北海道～四国、樺太など
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 1m～（蔓性）
- 《備考》 南縁緑地などに普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

バラ目クワ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ヤマグワ

*Morus australis*

- 《分布》 日本、朝鮮、インドなど
- 《花期》 5月
- 《大きさ》 3～12m
- 《備考》 南縁緑地に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

## バラ目イラクサ科



Photo by Mikoto Kaneko



## エゾイラクサ

*Urtica platyphylla*

- 《分布》 北海道～本州
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 50～170 cm
- 《備考》 森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## ブナ目ブナ科



Photo by Mikoto Kaneko



## ミズナラ

*Quercus crispula*

- 《分布》 日本、樺太、千島
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 15～30 m
- 《備考》 野外礼拝堂などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

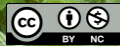


雄花

## ブナ目クルミ科



Photo by Mikoto Kaneko



## オニグルミ

*Juglans mandshurica var. sachalinensis*

- 《分布》 日本、樺太
- 《花期》 5月
- 《大きさ》 10～30 m
- 《備考》 野外礼拝堂などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日



雌花

雄花

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

ニシキギ目ニシキギ科



Photo by Mikoto Kaneko

## コマユミ

*Euonymus alatus var. alatus f. striatus*

- 《分布》 日本、朝鮮、樺太など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 1～3m
- 《備考》 温室前林地などに稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ニシキギ目ニシキギ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ニシキギ

*Euonymus alatus f. alatus*

- 《分布》 日本、中国、樺太など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 3～5m
- 《備考》 噴水広場などに植樹
- 《観察難度》 ★★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ニシキギ目ニシキギ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ツルウメモドキ

*Celastrus orbiculatus var. orbiculatus*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 1m～(蔓性)
- 《備考》 学生駐車場Bなどに普通
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日



# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

ニシキギ目ニシキギ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ツルマサキ

*Euonymus fortunei*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 1m～（蔓性）
- 《備考》 研修館周辺などに普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

キントラノオ目ヤナギ科



Photo by Mikoto Kaneko

## イヌコリヤナギ

*Salix integra*

- 《分布》 日本、朝鮮、南千島
- 《花期》 5月
- 《大きさ》 1～3m
- 《備考》 温室前林地に稀
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

キントラノオ目ヤナギ科



Photo by Mikoto Kaneko

## エゾノカワヤナギ

*Salix miyabeana* subsp. *miyabeana*

- 《分布》 北海道～本州
- 《花期》 4月
- 《大きさ》 5～7m
- 《備考》 南縁緑地などに普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日



# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

## キントラノオ目ヤナギ科



Photo by Mikoto Kaneko

## バッコヤナギ

*Salix caprea*

- 《分布》 北海道～四国
- 《花期》 4月
- 《大きさ》 5～10 m
- 《備考》 南縁緑地などに普通
- 《観察難度》 ★★★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## ムクロジ目ウルシ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ツタウルシ

*Toxicodendron orientale subsp. orientale*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮、樺太
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 1 m～ (蔓性)
- 《備考》 南縁緑地などに普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## ムクロジ目ミカン科



Photo by Mikoto Kaneko

## キハダ

*Phellodendron amurense var. amurense*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 10～30 m
- 《備考》 南縁緑地に稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

ムクロジ目ニガキ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ニガキ

*Picrasma quassioides*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 5～6月
- 《大きさ》 10～15 m
- 《備考》 温室前林地などに稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ムクロジ目ニガキ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ニワウルシ

*Ailanthus altissima*

- 《分布》 中国
- 《花期》 6月
- 《大きさ》 15～20 m
- 《備考》 中央通りなどに植樹
- 《観察難度》 ★★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ナデシコ目タデ科



Photo by Mikoto Kaneko

## オオイタドリ

*Fallopia sachalinensis*

- 《分布》 北海道～本州、樺太など
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 1～3 m
- 《備考》 明るい草地に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

## ナデシコ目タデ科



Photo by Mikoto Kaneko

## ギシギシ

*Rumex japonicus*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 5～7月
- 《大きさ》 40～130 cm
- 《備考》 草地や路傍に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## ナデシコ目タデ科



Photo by Mikoto Kaneko

ブルーリスト掲載種

## エゾノギシギシ

*Rumex obtusifolius*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《花期》 5～7月
- 《大きさ》 50～130 cm
- 《備考》 草地や路傍に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## シソ目オオバコ科



Photo by Mikoto Kaneko

## オオバコ

*Plantago asiatica*

- 《分布》 日本、ロシア、東アジア
- 《花期》 5～8月
- 《大きさ》 10～30 cm
- 《備考》 路傍に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

シソ目オオバコ科



## ヘラオオバコ

*Plantago lanceolata*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《花期》 5～8月
- 《大きさ》 30～70 cm
- 《備考》 路傍や草地に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

モチノキ目モチノキ科



## ハイイヌツゲ

*Ilex crenata var. radicans*

- 《分布》 北海道～本州、樺太など
- 《花期》 7月
- 《大きさ》 50～150 cm
- 《備考》 南縁緑地などにやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

キク目キク科



## ヨブスマソウ

*Parasenecio robustus*

- 《分布》 北海道、中国、朝鮮など
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 1～2 m
- 《備考》 森林内にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

セリ目ウコギ科



## コシアブラ

*Chengiopanax sciadophylloides*

- 《分布》 日本
- 《花期》 8～9月
- 《大きさ》 10～20 m
- 《備考》 南縁緑地にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

セリ目ウコギ科



## タラノキ

*Aralia elata*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 8月
- 《大きさ》 2～5 m
- 《備考》 野外礼拝堂に普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

セリ目ウコギ科



## ハリギリ

*Kalopanax septemlobus*

- 《分布》 日本、中国、樺太など
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 10～20 m
- 《備考》 南縁緑地などに普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内の緑色やその他の色の花を付ける植物

## セリ目ウコギ科



### オオチドメ

*Hydrocotyle ramiflora*

- 《分布》 日本
- 《花期》 6～7月
- 《大きさ》 3～5 cm
- 《備考》 湿潤な草地に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## セリ目セリ科



### ウマノミツバ

*Sanicula chinensis*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《花期》 7～8月
- 《大きさ》 30～120 cm
- 《備考》 森林や林縁部に普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## マツムシソウ目ガズミ科



### レンプクソウ

*Adoxa moschellina*

- 《分布》 日本、ユーラシア
- 《花期》 5月
- 《大きさ》 8～15 cm
- 《備考》 林縁部にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内で観察できるシダ植物

## ウラボシ目チャセンシダ科



## コタニワタリ

### *Asplenium scolopendrium*

- 《分布》 日本、北半球の温帯
- 《孢子成熟》 8～9月
- 《大きさ》 10～30 cm
- 《備考》 湿潤な森林内に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## ウラボシ目チャセンシダ科



## トラノオシダ

### *Asplenium incisum*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《孢子成熟》 9～11月
- 《大きさ》 10～30 cm
- 《備考》 湿潤な森林内に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

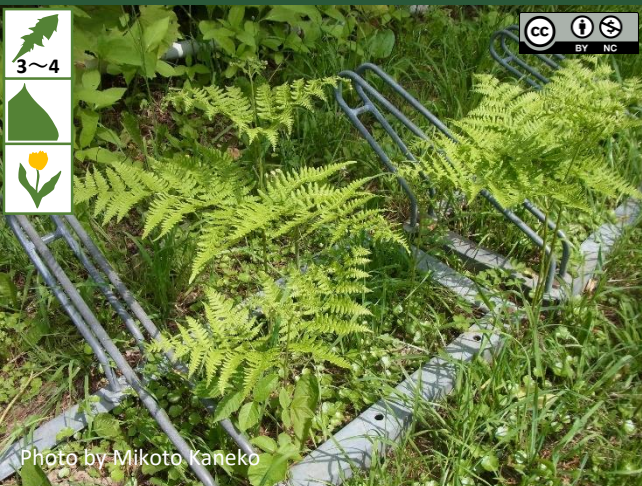
観察した場所

所見

観察日

年 月 日

## ウラボシ目コバノイシカグマ科



## ワラビ

### *Pteridium aquilinum subsp. japonicum*

- 《分布》 日本、北半球の温帯
- 《孢子成熟》 9～10月
- 《大きさ》 50～100 cm
- 《備考》 明るい草地に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内で観察できるシダ植物

ウラボシ目オシダ科



## オシダ

*Dryopteris crassirhizoma*

- 《分布》 日本
- 《孢子成熟》 9～10月
- 《大きさ》 60～120 cm
- 《備考》 森林内に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ウラボシ目オシダ科



## サカゲイノデ

*Polystichum retrosopaleaceum*

- 《分布》 日本
- 《孢子成熟》 8～10月
- 《大きさ》 50～120 cm
- 《備考》 湿潤な森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ウラボシ目オシダ科



## ジュウモンジシダ

*Polystichum tripterum*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《孢子成熟》 7～9月
- 《大きさ》 20～50 cm
- 《備考》 湿潤な森林内に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日



# 大学構内で観察できるシダ植物

ウラボシ目オシダ科



## ホソバナライシダ *Arachniodes borealis*

- 《分布》 日本
- 《孢子成熟》 7～9月
- 《大きさ》 50～90 cm
- 《備考》 森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

ウラボシ目オシダ科



## リョウメンシダ *Arachniodes standishii*

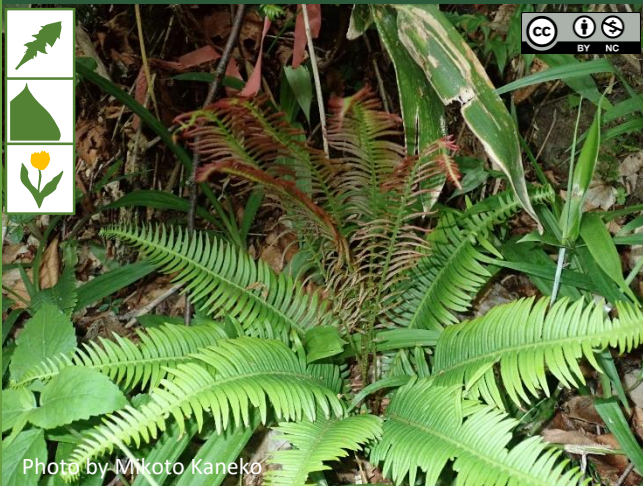
- 《分布》 日本、朝鮮
- 《孢子成熟》 10～11月
- 《大きさ》 50～80 cm
- 《備考》 湿潤な森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

ウラボシ目シシガシラ科



## シシガシラ *Struthiopteris niponica*

- 《分布》 日本
- 《孢子成熟》 9～10月
- 《大きさ》 20～40 cm
- 《備考》 森林内の斜面地に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内で観察できるシダ植物

## ウラボシ目ヒメシダ科



## ミゾシダ

*Thelypteris pozoi subsp. mollissima*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《孢子成熟》 8～9月
- 《大きさ》 10～40 cm
- 《備考》 湿潤な森林にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## ウラボシ目コウヤワラビ科



## クサソテツ

*Matteuccia struthiopteris*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《孢子成熟》 9～10月
- 《大きさ》 40～100 cm
- 《備考》 明るい森林内などに普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## ウラボシ目コウヤワラビ科



## コウヤワラビ

*Onoclea sensibilis var. interrupta*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《孢子成熟》 9～10月
- 《大きさ》 20～60 cm
- 《備考》 明るい森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内で観察できるシダ植物

ウラボシ目コウヤワラビ科



## イヌガンソク

*Pentarhizidium orientale*

- 《分布》 日本、東アジアなど
- 《孢子成熟》 8～9月
- 《大きさ》 30～80 cm
- 《備考》 湿潤な森林にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

トクサ目トクサ科



## スギナ

*Equisetum arvense*

- 《分布》 日本、ヨーロッパなど
- 《孢子成熟》 4～5月
- 《大きさ》 10～40 cm
- 《備考》 路傍や草地に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ヒカゲノカズラ目ヒカゲノカズラ科



## ホソバトウゲシバ

*Huperzia serrata var. serrata*

- 《分布》 日本、東アジアなど
- 《孢子成熟》 9～10月
- 《大きさ》 10～30 cm
- 《備考》 森林内にやや稀
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内で観察できるシダ植物

ヒカゲノカズラ目ヒカゲノカズラ科



## ヒカゲノカズラ

*Lycopodium clavatum* var. *nipponicum*

- 《分布》 日本、北半球の温帯
- 《孢子成熟》 8～9月
- 《大きさ》 50～100 cm
- 《備考》 明るい裸地に稀
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ハナヤスリ目ハナヤスリ科



## ナツノハナワラビ

*Botrychium virginianum*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《孢子成熟》 6～7月
- 《大きさ》 20～70 cm
- 《備考》 湿潤な森林に稀
- 《観察難度》 ★★★★★

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

ハナヤスリ目ハナヤスリ科



## エゾフユノハナワラビ

*Botrychium multifidum*

- 《分布》 日本、中国、朝鮮など
- 《孢子成熟》 9～11月
- 《大きさ》 20～40 cm
- 《備考》 森林内にやや普通
- 《観察難度》 ★★★☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内で観察できるコケ植物

## スギゴケ目スギゴケ科



### ナミガタたちゴケ *Atrichum undulatum*

- 《分布》 北海道～九州、北半球
- 《胞子成熟》 3～6月
- 《大きさ》 1～4 cm
- 《備考》 森林地上部に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## スギゴケ目スギゴケ科



### ヒメスギゴケ *Pogonatum nesii*

- 《分布》 北海道～九州、アジア
- 《胞子成熟》 6～7月
- 《大きさ》 1～5 cm
- 《備考》 半日陰の地上部に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## ホウオウゴケ目ホウオウゴケ科



### コホウオウゴケ *Fissidens adelphinus*

- 《分布》 日本、朝鮮、中国ほか
- 《胞子成熟》 8～9月
- 《大きさ》 0.5～1 cm
- 《備考》 森林地上部に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

# 大学構内で観察できるコケ植物

## シッポゴケ目キンシゴケ科



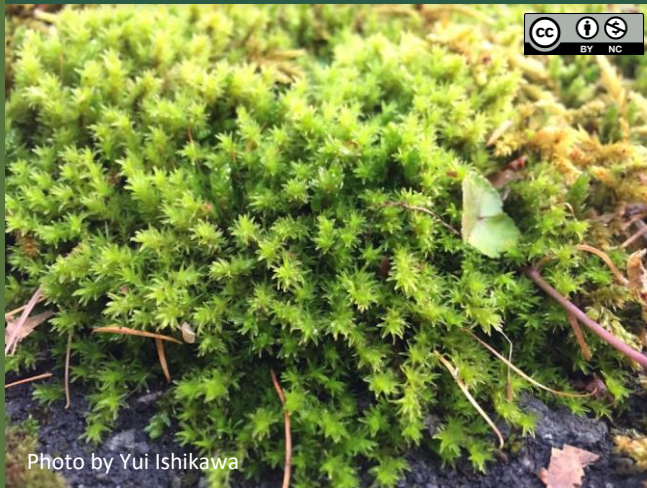
## ヤノウエノアカゴケ *Ceratodon purpureus*

- 《分布》 日本、北半球の温帯
- 《胞子成熟》 5～6月
- 《大きさ》 0.5～1 cm
- 《備考》 明るい地上部に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_  
年 月 日

## ギボウシゴケ目ギボウシゴケ科



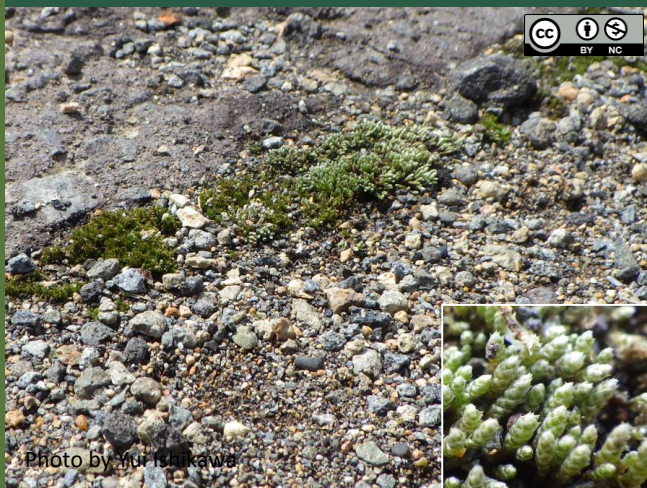
## エゾスナゴケ *Racomitrium japonicum*

- 《分布》 北海道～九州、中国など
- 《胞子成熟》 6～7月
- 《大きさ》 1～3 cm
- 《備考》 明るい地上部に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_  
年 月 日

## マゴケ目ハリガネゴケ科



## ギンゴケ *Bryum argenteum*

- 《分布》 日本、世界
- 《胞子成熟》 8～9月
- 《大きさ》 0.5～1 cm
- 《備考》 路傍や乾燥地に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_  
年 月 日

# 大学構内で観察できるコケ植物

マゴケ目チョウチンゴケ科



## コツボゴケ

*Plagiomnium acutum*

- 《分布》 日本、ヒマラヤなど
- 《孢子成熟》 6～7月
- 《大きさ》 1～10 cm
- 《備考》 半日陰の地上部に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

イヌマゴケ目コウヤノマンネングサ科



## フロウソウ

*Climacium dendroides*

- 《分布》 北海道～九州、北半球
- 《孢子成熟》 不明（孢子体形成は稀）
- 《大きさ》 1～3 cm
- 《備考》 湿潤な地上部に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

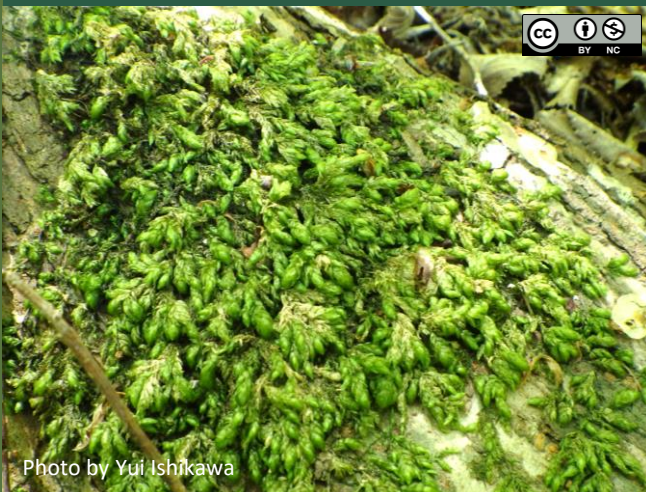
観察した場所

所見

観察日

年 月 日

イヌマゴケ目ヒラゴケ科



## オオトラノオゴケ

*Thamnobryum subseriatum*

- 《分布》 北海道～九州、中国など
- 《孢子成熟》 4～5月
- 《大きさ》 5～10 cm
- 《備考》 森林内の倒木上に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所

所見

観察日

年 月 日

# 大学構内で観察できるコケ植物

## シトネゴケ目アオギヌゴケ科



Photo by Yui Ishikawa

### アオギヌゴケ科の一種 *Brachytheciaceae* sp.

- 《分布》 日本、北半球の温帯
- 《胞子成熟》 8～9月
- 《大きさ》 10～30 cm
- 《備考》 湿潤な森林内に普通
- 《観察難度》 ★★☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## ゼニゴケ目ジャゴケ科



Photo by Mikoto Kaneko

### ジャゴケ *Conophalum conicum*

- 《分布》 日本、北半球
- 《胞子成熟》 4～5月
- 《大きさ》 3～15 cm
- 《備考》 森林地上部に普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日

## ゼニゴケ目ゼニゴケ科



Photo by Yui Ishikawa

雄器托と雌器托

### ゼニゴケ *Marchantia polymorpha*

- 《分布》 北海道～九州、世界
- 《胞子成熟》 6～7月
- 《大きさ》 3～10 cm
- 《備考》 明るい路傍などに普通
- 《観察難度》 ★☆☆☆☆

観察した場所 \_\_\_\_\_ 所見 \_\_\_\_\_

観察日 \_\_\_\_\_

年 月 日



# 野外観察を行うにあたって

野外での活動を行う際には、服装や道具の準備だけではなく、観察地域の地理やルール、危険生物への理解も必要となります。本節では、そうした野外観察を行う上で必要な事項を紹介します。

## I. 計画・下準備

### STEP1. 計画の立案

- 観察対象種を定める
- 対象種が見られる時期（植物の花期、鳥の渡り時期etc.）の確認
- 対象種の分布地域を調べる

### STEP2. 観察地域の選定

- 観察地域の土地所有者を確認する
  - 私有地なら所有者、公有地なら管轄の役所に立ち入り許可を取る
- 観察ルートの方策定と、所要観察時間を確認する
- 観察地域への移動手段、往復の所要時間を確認する
- 観察地域の危険箇所（倒木、交通事故多発地、崩落地etc.）の把握
- 地域に分布する危険生物の把握を行う
- 天候急変時、災害時における緊急避難場所を確認する
- 周辺の医療機関の有無を確認する
- 周辺のトイレ施設の有無を確認する

### STEP3. 観察当日までの準備

- 持ち物リストの作成
- 気象予報の確認
  - 観察予定時間の天気、気温などを中心に入念に調べておく
  - 荒天時の場合は無理をせず、計画を中止にする
- 服装、持ち物、当日スケジュールの最終確認
- 携帯電話や、カメラバッテリーなどの充電も余裕を持って行う

### 《大学構内における自然観察の際は、以下の点にも注意が必要》

- 農場や実験圃場、調査区画などには許可なく立ち入らない
- 研究目的で設置された機材は無闇に触らず、移動などはさせない
- 南縁緑地林縁に設置されている電気柵には触れない
- 学内構内に分布する動植物の採取は基本的に行わない



調査研究で設置された巣箱（左）、カメラトラップ（右）

南縁緑地林縁の電気柵

## Ⅱ.服装・持ち物

### Ⅱ-1.野外観察時の服装と選定のポイント

観察時の服装として、最低限以下の様なものを用意したい。

#### 【帽子】

- 頭上からの落下物によるケガを防ぐ他、日差しを防いで熱中症予防にもなる
- ハットタイプの物は広く日射しが防げるが、強風で飛び易いためハットストラップがあると便利
- 黒色は日射を吸収しやすいため、それ以外の色がベスト

#### 【長袖・長ズボン】

- 蚊などの虫刺されや植物の枝葉、棘から身を守るためにも、出来る限り肌の露出は抑える
- ズボンに関しては、ウィンドブレーカーなどのナイロン素材の物にするとマダニがくつき難い

#### 【上着】

- 温度調整がし易いように着脱が簡単に出来る物が望ましい
- ズボンと同様の理由でナイロン素材の物がベスト

#### 【靴】

- 履き慣れた運動靴ないしはトレッキングシューズがベスト
- 長距離を歩く場合は厚めの靴下も用意しておく
- 水場やぬかるみの多い場所は長靴を用意しておく

#### 【リュック】

- 両手が自由になるリュックサックが良い
- 自身の体格に合ったものを選べば、移動の疲労も少なくなる



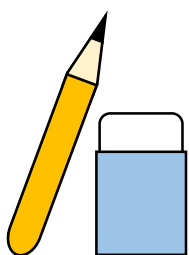
野外観察の服装の一例

上記装備以外にも、手先を守るための**軍手**や**グローブ**、雨天時に**上下に分かれるカッパ**などがあると便利。また、落石や落枝などの可能性がある地域を止むを得ず通る場合は**ヘルメット**を着用し、頭をしっかりと守るようにする。複数人での行動や他の利用者が居る場所等では、**消毒用アルコール**の準備、**マスク**着用など新型コロナウイルス感染対策も徹底するようにしたい。様々な状況に対応出来る装備を整えるためにも、事前に観察地域の下見や情報収集などはとても重要。

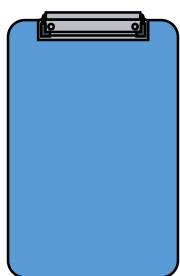
※上記装備の記述はあくまでも一例です。装備が自分に合わなければ意味がありません。自分に適したスタイルを見つけて、体に負担の掛からない観察を心掛けましょう。

## Ⅱ-2.野外観察時があると便利な持ち物

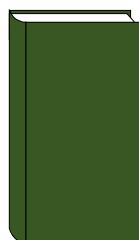
野外観察の内容・目的に応じて、以下の様な物品を用意しておくが良い。



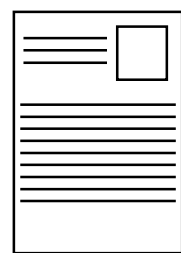
筆記用具



用箋バサミ



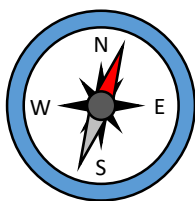
フィールドノート



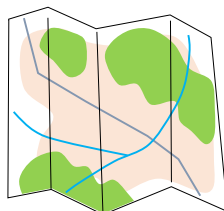
記録用紙



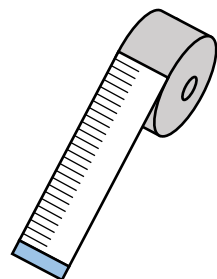
腕時計



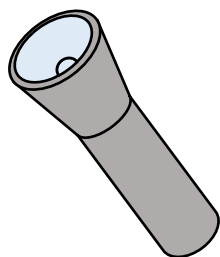
コンパス



地図



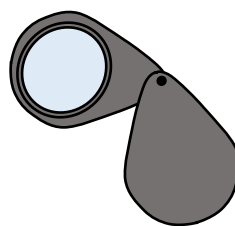
メジャー



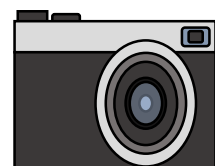
ライト



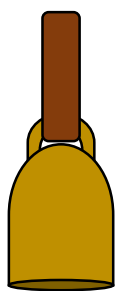
双眼鏡



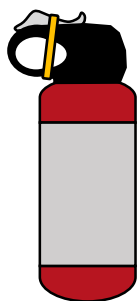
ルーペ



カメラ



熊スズ



熊スプレー



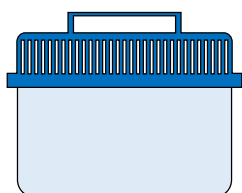
虫よけ



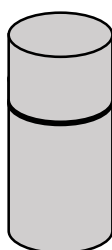
杖



虫取り網



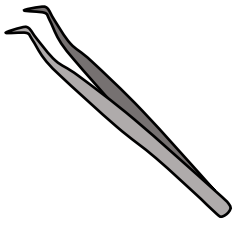
虫かご（観察用）



水筒



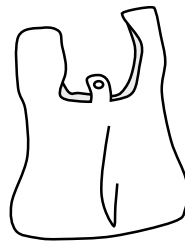
携行食



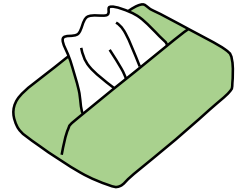
□ピンセット



□チャック付きポリ袋



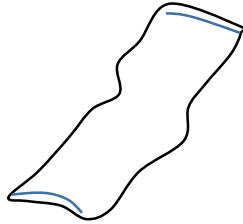
□ゴミ袋



□ティッシュ



□図鑑類



□タオル



□着替え



□保険証



□救急用品

各種常備薬、絆創膏、消毒液、ガーゼ、包帯、清浄綿、サージカルテープ、ウェットティッシュ、体温計、防災笛、ティックピンサー※1、ポイズンリムーバー※2 etc.



※1. ティックピンサー

先端のカップに噛み付いてるマダニを捕らえ、強い電撃を与えることで取り除くことができる。



※2. ポイズンリムーバー

体内に注入された毒液をシリンダーで吸い上げることにより取り除くことができる。

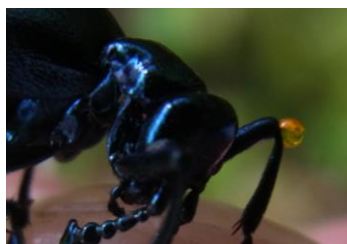
《環境共生学類の備品貸し出しについて》

環境共生学類実習準備室（B1-221）では、双眼鏡や各種図鑑類、ティックピンサーやポイズンリムーバーといった学類所有の備品を貸し出しています。在室の助手に相談の上、ご活用下さい（実習で使用している場合など対応出来ないこともあります）。

### Ⅲ.危険生物と被害時の対策

大学周辺に分布する危険生物を以下に紹介します。  
他地域に赴く場合は、下記以外の種についても注意しましょう。

生物種	原因	症状	処置
ヘビ類	牙による噛みつき	外傷	傷の洗浄・消毒、止血
ニホンアマガエル	体表面から分泌される毒液の付着	皮膚の炎症、痒み	カエルを触った後は良く手を洗う、 皮膚の薄い部分に触れた場合すぐに洗い流す
ムカデ類	顎肢による噛みつきと毒液の注入	患部の炎症・腫れ・痒み、 アナフィラキシーショック	傷の洗浄・消毒、ステロイド外用薬を塗布
マダニ	缺角による刺咬と吸血	患部の痛み・痒み、ライム病の罹患	顎部が残存する恐れもあるため、 なるべく医療機関で除去して貰う
スズメバチ類	毒針による刺傷と毒液の注入	患部の痛み・腫れ・痒み、 アナフィラキシーショック	刺傷部から毒を絞り出す、傷の洗浄・冷却、 抗ヒスタミンないしはステロイド外用薬を塗布
その他のハチ類	毒針による刺傷と毒液の注入	患部の痛み・腫れ・痒み、 アナフィラキシーショック	刺傷部から毒を絞り出す、傷の洗浄・冷却、 抗ヒスタミンないしはステロイド外用薬を塗布
ドクガ類	毒針毛による刺傷	強い痛みと痒みを伴う発疹	粘着テープなどを用いて患部の毒針毛を除去、 傷の洗浄・消毒・冷却、 抗ヒスタミンないしはステロイド外用薬を塗布
アブ・カ類	刺針による刺咬と吸血	強い痒みを伴う腫れ	刺傷部から毒を絞り出す、傷の洗浄・冷却、 抗ヒスタミンないしはステロイド外用薬を塗布
ツチハンミョウ	脚関節から分泌される毒液の付着	皮膚の炎症、水疱	傷の洗浄、皮膚科の受診
イラクサ類	刺毛による刺傷と毒液の注入	強い痒みを伴う発疹、水疱	傷の洗浄・消毒・冷却、 抗ヒスタミンないしはステロイド外用薬を塗布
ウコギ科樹木	樹皮表面の棘による刺傷	外傷	傷の洗浄・消毒、外皮用薬の塗布
バラ科樹木	樹皮表面の棘による刺傷	外傷	傷の洗浄・消毒、外皮用薬の塗布
アメリカオニアザミ	樹皮表面の棘による刺傷	外傷	傷の洗浄・消毒、外皮用薬の塗布
ツタウルシ	植物体に含まれる有毒成分の付着	強い痒みを伴う発疹、水疱	傷の洗浄・消毒・冷却、 抗ヒスタミンないしはステロイド外用薬を塗布
クサノオウ	植物体に含まれる有毒成分の付着	強い痒みを伴う発疹、水疱、 誤食した場合嘔吐、痙攣	傷の洗浄・消毒、 抗ヒスタミンないしはステロイド外用薬を塗布
エゾトリカブト	植物体に含まれる有毒成分の摂取	誤食した場合嘔吐、下痢、 痙攣、呼吸不全、死亡	その場で直ぐに吐き戻す、医療機関の受診
バイケイソウ	植物体に含まれる有毒成分の摂取	誤食した場合嘔吐、 下痢、痙攣、稀に死亡	その場で直ぐに吐き戻す、医療機関の受診
スイセン類	植物体に含まれる有毒成分の摂取	誤食した場合嘔吐、 下痢、痙攣、昏睡	その場で直ぐに吐き戻す、医療機関の受診
テングタケ類	菌体に含まれる有毒成分の摂取	誤食した場合嘔吐、下痢、痙攣、 種によっては消化管出血、死亡	その場で直ぐに吐き戻す、医療機関の受診
ヒトヨタケ類	菌体に含まれる有毒成分の摂取	アルコール分解酵素の阻害	食後、数日間は飲酒を控える
シャグマアマミガサタケ	菌体に含まれる有毒成分の摂取	誤食した場合嘔吐、 下痢、肝機能障害、死亡	その場で直ぐに吐き戻す、医療機関の受診



黄色い毒液を出すツチハンミョウ



ナミドクガの幼虫 (写真提供：石橋佳明氏)



腕を這いまわるマダニ

# 和名索引

---

## 【ア】

アイタケ 127  
アイバシロハツ 128  
アオギヌゴケ科の一種 246  
アオクチブトカメムシ 47  
アオゴミムシ 49  
アオサギ 19  
アオジ 34  
アオダイショウ 37  
アオダモ 213  
アオネノヤマイグチ 117  
アオバト 18  
アオハナムグリ 53  
アカアシクワガタ 55  
アカイタヤ 188  
アカイロマルノミハムシ 61  
アカウシアブ 65  
アカエゾマツ 178  
アカオニグモ 76  
アカケダニ 78  
アカゲラ 22  
アカスジカメムシ 47  
アカネズミ 16  
アカバナ 163  
アカハナカミキリ 58  
アカハラ 32  
アカマルハナバチ 75  
アカモミタケ 127  
アキアカネ 40  
アキタブキ 190  
アキノウナギツカミ 165  
アキヤマタケ 96  
アサダ 186  
アジサイ 174  
アズキナシ 205  
アズマナルコ 223

アバタチャブクロ 113  
アブラガヤ 224  
アミヒラタケ 124  
アメリカオニアザミ 170  
アメンボ 45  
アンズタケ 120

## 【イ】

イシビルの一種 80  
イタチタケ 110  
イタドリハムシ 59  
イタヤカエデ 188  
イタヤカミキリ 57  
イタヤハムシ 60  
イチイ 180  
イチヨウ 220  
イヌエンジュ 202  
イヌガンソク 241  
イヌコリヤナギ 230  
イヌセンボンタケ 109  
イヌタデ 164  
イボタガ 71  
イボタノキ 214  
イワガラミ 211  
イワミツバ 218

## 【ウ】

ウグイス 27  
ウグイスチャチチタケ 126  
ウコンガサ 96  
ウコンハツ 128  
ウスカワマイマイ 83  
ウスキニセショウロ 118  
ウスタケ 121  
ウスバシハイタケ 121  
ウスヒラタケ 104

**【ウ：続き】**

ウスベニツメクサ 165  
 ウダイカンバ 185  
 ウツボグサ 176  
 ウマノミツバ 236  
 ウメガサソウ 212  
 ウメノキゴケ 135  
 ウラミスジシジミ 69  
 ウリハムシモドキ 59

**【エ】**

エゴノキ 211  
 エゾアオカメムシ 46  
 エゾアカガエル 35  
 エゾアカガネオサムシ 50  
 エゾイラクサ 228  
 エゾエンゴサク 172  
 エゾキビガイ 83  
 エゾサンショウウオ 35  
 エゾシカ 16  
 エゾスズラン 222  
 エゾスナゴケ 244  
 エゾタンポポ 194  
 エゾトリカブト 172  
 エゾニワトコ 219  
 エゾノカワヤナギ 230  
 エゾノギシギシ 233  
 エゾノコンギク 176  
 エゾノリュウキンカ 182  
 エゾハルゼミ 48  
 エゾフユノハナワラビ 242  
 エゾマイマイ 84  
 エゾヤマザクラ 162  
 エゾユキウサギ 17  
 エゾユズリハ 160  
 エゾリス 16  
 エナガ 27  
 エノキタケ 98  
 エビガライチゴ 205

エントモファガ・グリリ 134  
 エンマコオロギ 42  
 エンレイソウ 158

**【オ】**

オオアカゲラ 22  
 オオアシトガリネズミ 17  
 オオアトボシアオゴミムシ 49  
 オオアマドコロ 200  
 オオイシアブ 65  
 オオイタドリ 232  
 オオイヌノフグリ 175  
 オオウバユリ 198  
 オオウラギンスジヒョウモン 69  
 オオカメノキ 219  
 オオカモメヅル 166  
 オオキゴケ 135  
 オオスジコガネ 52  
 オオスズメバチ 74  
 オオゾウムシ 62  
 オオダイコンソウ 184  
 オオタカ 21  
 オオタチツボスミレ 173  
 オオチドメ 236  
 オオチャワンタケ 132  
 オオトラノオゴケ 245  
 オオハクチョウ 18  
 オオバコ 233  
 オオバナノエンレイソウ 197  
 オオバボダイジュ 208  
 オオハンゴンソウ 191  
 オオヒラタシデムシ 50  
 オオホウライタケ 106  
 オオミズアオ 73  
 オオヤマサギソウ 222  
 オオルリ 30  
 オカダンゴムシ 79  
 オカモノアラガイ 81  
 オサムシタケ 133

**【オ：続き】**

オシダ<sup>ダ</sup> 238  
 オジマヒダリマキゴマガイ 81  
 オジロワシ 20  
 オツネトンボ 39  
 オニグモ 76  
 オニグルミ 228  
 オニクワガタ 55  
 オニシモツケ 206  
 オニタビラコ 194  
 オニナラタケ 99  
 オニノゲシ 191  
 オニノヤガラ 221  
 オヒョウ 160

**【カ】**

ガガイモ 166  
 カキシメジ 102  
 カケス 24  
 カシワマイマイ 72  
 カスミザクラ 204  
 カタクリハムシ 61  
 カタバミ 187  
 カツラ 159  
 カノコガ 71  
 カノツメソウ 218  
 カバノアナタケ 122  
 ガマ 222  
 ガムシ 53  
 カモガヤ 224  
 カラハツタケ 126  
 カラフトダイコンソウ 184  
 カラフトモモブトハバチ 73  
 カラマツ 177  
 カワセミ 20  
 カワラタケ 123  
 カワラヒワ 33  
 ガンタケ 108  
 カンタン 43

**【キ】**

キアゲハ 67  
 キクイタダキ 25  
 ギシギシ 233  
 キジバト 18  
 キタキツネ 17  
 キタコブシ 196  
 キタスカシバ 67  
 キツネタケ 97  
 キツネノチャブクロ 114  
 キツネノロウソク 119  
 キバシリ 29  
 キハダ 231  
 キバネセセリ 67  
 キビタキ 30  
 キフシススホコリ 136  
 キマワリ 63  
 キミズゴケノハナ 96  
 キララタケ 109  
 キリ 176  
 キレンジャク 28  
 キンエノコロ 225  
 ギンゴケ 244  
 キンチャワンタケ 131  
 ギンブナ 38  
 キンミズヒキ 183  
 ギンラン 199

**【ク】**

クギヌキハサミムシ 41  
 クサイ 223  
 クサソテツ 240  
 クサノオウ 181  
 クサハツ 129  
 クジャクチョウ 68  
 クスサン 72  
 クヌギタケ 103  
 クマゲラ 23  
 クマザサ 224



**【ク：続き】**

クリ 207  
 クリオオアブラムシ 49  
 クリタケ 111  
 クルマバソウ 213  
 クルマバツクバネソウ 221  
 クロツグミ 32  
 クロハツ 129  
 クロヒカゲ 68  
 クロヒラタシテムシ 51  
 クロヤマアリ 75

**【ケ】**

ケシガイ 81  
 ケチヂミザサ 226  
 ケブカスズメバチ 73  
 ケヤマハンノキ 186  
 ケラ 45  
 ゲンノショウコ 207

**【コ】**

コウガイビル的一种 80  
 コウゾリナ 193  
 コウヤマキ 179  
 コウヤワラビ 240  
 コウリンタンポポ 171  
 コエゾゼミ 48  
 コガタスズメバチ 74  
 コケイラン 181  
 コケイロヌメリガサ 95  
 コゲラ 23  
 コサメビタキ 31  
 コシアブラ 235  
 コシカギク 192  
 ゴジュウカラ 29  
 コスモス 171  
 コタニワタリ 237  
 コツボゴケ 245  
 コナスビ 190

コナラシギゾウムシ 63  
 コハコベ 209  
 コフキサルノコシカケ 123  
 ゴボウ 171  
 コホウオウゴケ 243  
 ゴマダラカミキリ 57  
 コマユミ 229  
 コムクドリ 29  
 コムラサキ 68  
 コンロンソウ 209

**【サ】**

サイハイラン 158  
 サカゲイノデ 238  
 サカズキカワラタケ 122  
 ササクレヒトヨタケ 109  
 ザゼンソウ 158  
 サッポロフキバツタ 43  
 サッポロマイマイ 84  
 サマツモドキ 101  
 サラシナショウマ 201  
 サルナシ 212  
 サルメンエビネ 180  
 サワシバ 186  
 サンコタケ 118

**【シ】**

シウリザクラ 204  
 シオカラトンボ 40  
 シオヤアブ 65  
 シシガシラ 239  
 シジュウカラ 26  
 シナノキ 208  
 シマヘビ 37  
 ジムグリ 37  
 シャグマアミガサタケ 132  
 ジャゴケ 246  
 ジュウモンジシダ 238

**【シ：続き】**

シュルツェマダニ 77  
 シラウメタケモドキ 103  
 シラカンバ 185  
 シロキツネノサカズキモドキ 130  
 シロソウメンタケ 115  
 シロタモギタケ 100  
 シロツメクサ 203  
 シロバナサギゴケ 214  
 シロヒトリ 70  
 シロヤリタケ 114

**【ス】**

スギナ 241  
 スコットカメムシ 46  
 スジアカハシリグモ 76  
 スジエビ 79  
 スジグロシロチョウ 70  
 スジクワガタ 55  
 ススケヤマドリタケ 116  
 スズバチ 75  
 スズメ 33  
 スズメノカタビラ 225  
 ズダヤクシュ 202  
 ストローブマツ 177  
 スベリヒユ 189  
 ズミ 204

**【セ】**

セイタカアワダチソウ 191  
 セイヨウオオマルハナバチ 74  
 セイヨウタンポポ 194  
 セイヨウトゲアザミ 170  
 ゼニゴケ 246  
 セリ 218  
 センダイムシクイ 28  
 センチコガネ 53  
 セントウソウ 216  
 センノカミキリ 56

**【タ】**

ダイコンソウ 184  
 タイリクサラグモ 77  
 タガネソウ 223  
 タチイヌノフグリ 175  
 タチツボスミレ 173  
 タナカキビガイ 83  
 タニギキョウ 215  
 タネツケバナ 208  
 タマゴタケ 106  
 タマチョレイタケ 124  
 タマツノホコリ 135  
 タモギタケ 103  
 タモロコ 38  
 タラノキ 235

**【チ】**

チシオタケ 102  
 チシマアザミ 170  
 チャウロコタケ 130  
 チャコウラナメクジ 84  
 チャナメツムタケ 112  
 チャホウキタケモドキ 120

**【ツ】**

ツキヨタケ 105  
 ツクバネソウ 220  
 ツグミ 31  
 ツタ 226  
 ツタウルシ 231  
 ツチガエル 35  
 ツチスギタケ 113  
 ツチヒラタケ 104  
 ツツドリ 19  
 ツバメオモト 198  
 ツボスミレ 206  
 ツヤコガネ 52  
 ツユクサ 172  
 ツリガネタケ 124

**【ツ：続き】**

ツリバナ 163  
 ツルアジサイ 210  
 ツルアリドオシ 213  
 ツルウメモドキ 229  
 ツルシキミ 207  
 ツルタケ 107  
 ツルマサキ 203  
 ツルリンドウ 174

**【テ】**

テンガイカブリタケ 132  
 テングタケ 107

**【ト】**

ドウダンツツジ 212  
 トガリアミガサタケ 131  
 ドクツルタケ 107  
 ドクベニタケ 128  
 トゲザトウムシ 77  
 トゲチシャ 193  
 トケンラン 181  
 トドマツ 178  
 トノサマガエル 36  
 トノサマバッタ 43  
 ドバト 19  
 トビ 21  
 トホシカメムシ 47  
 トモエソウ 187  
 トラノオシダ 237

**【ナ】**

ナガカツオゾウムシ 63  
 ナカグロモリノカサ 108  
 ナガナタネガイ 82  
 ナガメ 48  
 ナズナ 209  
 ナツノハナワラビ 242  
 ナナカマド 206

ナナホシテントウ 62  
 ナニワズ 188  
 ナミガタタチゴケ 243  
 ナミゲンゴロウ 54  
 ナミテントウ 62  
 ナミニクバエ 66  
 ナメコ 112  
 ナラタケ 99  
 ナワシロイチゴ 162

**【ニ】**

ニオイコベニタケ 127  
 ニオイヒバ 179  
 ニガキ 232  
 ニカワウロコタケ 97  
 ニカワジョウゴタケ 119  
 ニカワホウキタケ 95  
 ニシキギ 229  
 ニセアシベニイグチ 116  
 ニホンアマガエル 36  
 ニホンカナヘビ 36  
 ニホンヒメフナムシ 79  
 ニュウナイスズメ 32  
 ニリンソウ 201  
 ニワウルシ 232

**【ヌ】**

ヌメリイグチ 118  
 ヌメリスギタケモドキ 112  
 ヌメリツバタケ 98

**【ネ】**

ネコノメソウ 183  
 ネジバナ 159

**【ノ】**

ノイバラ 205  
 ノゲシ 192  
 ノコギリカミキリ 56

**【ノ：続き】**

ノシメトンボ 40  
 ノスリ 21  
 ノハラムラサキ 175  
 ノビタキ 31  
 ノブキ 216  
 ノブドウ 227  
 ノボロギク 192  
 ノラニンジン 217  
 ノリウツギ 210

**【ハ】**

ハイイヌガヤ 180  
 ハイイヌツゲ 234  
 ハイイロシメジ 101  
 ハイキンポウゲ 183  
 バイケイソウ 221  
 ハウチワカエデ 163  
 ハエドクソウ 167  
 ハクウンボク 211  
 ハクセキレイ 33  
 ハシドイ 214  
 ハシブトガラ 25  
 ハシブトガラス 24  
 ハシボソガラス 24  
 ハタケシメジ 100  
 ハチタケ 134  
 バッコヤナギ 231  
 パツラマイマイ 82  
 ハナイグチ 117  
 ハナウロコタケ 125  
 ハナニガナ 195  
 ハナビラダクリオキン 95  
 ハナビラタケ 125  
 ハネナガキリギリス 42  
 ハリエンジュ 203  
 ハリガネオチバタケ 105  
 ハリギリ 235  
 ハルガヤ 225

ハルザキヤマガラシ 189  
 ハルジオン 169  
 ハルニレ 161  
 ハンノアオカミキリ 57  
 ハンノキイグチ 117  
 ハンノキハムシ 59

**【ヒ】**

ヒカゲノカズラ 242  
 ヒガラ 26  
 ヒシバッタ 44  
 ヒトヨタケ 110  
 ヒトリシズカ 196  
 ヒナギク 169  
 ヒバリ 26  
 ヒメイズイ 200  
 ヒメオドリコソウ 168  
 ヒメキクラゲ 120  
 ヒメギス 41  
 ヒメクサキリ 42  
 ヒメジョオン 169  
 ヒメスギゴケ 243  
 ヒメチシオタケ 102  
 ヒメチチコグサ 195  
 ヒメミズカマキリ 46  
 ヒヨドリ 27  
 ヒラタケ 104  
 ヒレハリソウ 167  
 ビロードモウズイカ 190

**【フ】**

フクジュソウ 182  
 フクロウ 20  
 フクロツチガキ 121  
 フジハムシ 60  
 フタスジハナカミキリ 58  
 ブタナ 193  
 フチドリベニヒダタケ 113  
 フッキソウ 201

**【フ：続き】**

フデリンドウ 174  
 フトスジミミズ 80  
 フランスギク 215  
 フロウソウ 245

**【へ】**

ベッコウタケ 122  
 ベニシジミ 69  
 ベニチャワンタケ 131  
 ベニテングタケ 108  
 ベニヒガサ 97  
 ベニヒラタムシ 54  
 へラオオバコ 234

**【ホ】**

ハウチャクソウ 198  
 ホオジロ 34  
 ホオノキ 196  
 ボーベリア菌 134  
 ホシアンズタケ 98  
 ホソバトウゲシバ 241  
 ホソバナライシダ 239  
 ホテイナラタケ 99  
 ホトケノザ 168

**【マ】**

マイヅルソウ 199  
 マイマイカブリ 50  
 マクキヌガサタケ 119  
 マゴジャクシ 123  
 マスタケ 125  
 マダラアシナガバエ 66  
 マダラガガンボ 64  
 マダラカマドウマ 44  
 マツモムシ 45  
 マヒワ 34  
 マムシグサ 220  
 マメコガネ 52

マメホコリ 136  
 マルガタゲンゴロウ 54

**【ミ】**

ミカドバツタ 44  
 ミズキ 210  
 ミズナラ 228  
 ミズバショウ 197  
 ミズヒキ 164  
 ミズムシ 78  
 ミゾシダ 240  
 ミゾソバ 165  
 ミツバ 216  
 ミツバツチグリ 185  
 ミミコウモリ 215  
 ミヤマエンレイソウ 197  
 ミヤマガマズミ 219  
 ミヤマキンバエ 66  
 ミヤマクワガタ 56  
 ミヤマザクラ 203  
 ミヤマタマゴタケ 106  
 ミヤマトウバナ 168  
 ミヤマヤブタバコ 195

**【ム】**

ムキタケ 105  
 ムクドリ 30  
 ムジナタケ 110  
 ムラサキケマン 159  
 ムラサキシメジ 101  
 ムラサキツメクサ 162  
 ムラサキホウキタケ 114  
 ムラサキホコリ 136

**【メ】**

メギ 182  
 メジロ 28  
 メタセコイア 179  
 メノコツチハンミョウ 64

**【メ：続き】**

メマツヨイグサ 187

**【モ】**

モエギタケ 111

モエギビョウタケ 133

モズ 23

モツゴ 38

モノサシトンボ 39

モミジタケ 126

モミジバスズカケノキ 160

モンキゴミムシダマシ 64

モンシロチョウ 70

モンシロドクガ 72

モンタナマツ 177

**【ヤ】**

ヤチダモ 167

ヤドリギ 189

ヤノウエノアカゴケ 244

ヤブジラミ 217

ヤブニンジン 217

ヤブハギ 161

ヤブマメ 173

ヤマイグチ 116

ヤマガラ 25

ヤマグワ 227

ヤマゲラ 22

ヤマシャクヤク 202

ヤマドリタケ 115

ヤマドリタケモドキ 115

ヤマハギ 161

ヤマブシタケ 129

ヤマブドウ 227

ヤマボタルガイ 82

ヤマモミジ 164

**【ユ】**

ユキザサ 199

ユキワリ 100

**【ヨ】**

ヨーロッパトウヒ 178

ヨツスジハナカミキリ 58

ヨツボシヒラタシテムシ 51

ヨツボシホソバ 71

ヨツボシモンシテムシ 51

ヨブスマソウ 234

**【ラ】**

ラクガクフウセンタケ 111

**【リ】**

リョウメンシダ 239

**【ル】**

ルイヨウショウマ 200

ルイヨウボタン 226

ルリイトトンボ 39

ルリツヤハダコメツキ 61

ルリハムシ 60

ルリボシヤンマ 41

**【レ】**

レンガタケ 130

レンゲツツジ 166

レンプクソウ 236

**【ロ】**

ロクショウグサレキン 133

**【ワ】**

ワラジムシ 78

ワラビ 237

# 主な参考文献

今回の生物種同定作業に参考とした主な文献の紹介です。  
**赤字**は初心者の方にもオススメな図鑑です。

## 哺乳類関連

- 『日本の哺乳類』 小宮輝之, 学研プラス, 2002
- 『哺乳類のフィールドサイン観察ガイド』 熊谷さとし・安田守, 文一総合出版, 2010
- 『リス・ネズミハンドブック』 飯島正広・土屋公幸, 文一総合出版, 2015
- 『モグラハンドブック』 飯島正広・土屋公幸, 文一総合出版, 2015

## 鳥類関連

- 『新訂 北海道野鳥図鑑』 河井大輔・川崎康弘・島田明英・諸橋淳, 亜璃西社, 2013
- 『新版 日本の野鳥』 叶内拓哉・安部直哉・上田秀雄, 山と溪谷社, 2013

## 両生・爬虫類関連

- 『日本のサンショウウオ: 46種の写真掲載 観察・種同定・生態調査に役立つ』 川添宣広, 誠文堂新光社, 2021
- 『新 日本両生爬虫類図鑑』 日本爬虫両棲類学会, サンライズ出版, 2021
- 『くらべてわかるカエル』 松橋利光, 山と溪谷社, 2021

## 魚類関連

- 『くらべてわかる 淡水魚』 斉藤憲治・山内りゅう, 山と溪谷社, 2015
- 『山溪ハンディ図鑑 増補改訂 日本の淡水魚』 藤田朝彦・武内啓明・川瀬成吾・細谷和海・内山りゅう, 山と溪谷社, 2019
- 『北海道の魚類 全種図鑑』 尼岡邦夫・仲谷一宏・矢部衛, 北海道新聞社, 2020

## 節足動物関連

- 『札幌の昆虫』 木野田君公, 北海道大学図書刊行会, 2006
- 『北海道のトンボ図鑑』 広瀬良宏・横山透・伊藤智, ミナミヤンマクラブ, 2007
- 『原色日本昆虫図鑑 上』 中根猛彦・日本甲虫学会, 保育社, 2008
- 『原色日本昆虫図鑑 下』 伊藤修四朗・奥谷禎一・日浦勇, 保育社, 2008
- 『タガメ・ミズムシ・アメンボハンドブック』 三田村敏正・平澤桂・吉井重幸, 文一総合出版, 2017
- 『日本のクモ 増補改訂版 (ネイチャーガイド)』 新海栄一, 文一総合出版, 2017
- 『落ち葉の下の小さな生き物ハンドブック』 皆越ようせい・渡辺弘之, 文一総合出版, 2017
- 『北海道の蝶』 永盛俊行・芝田翼・辻規男, 北海道大学出版会, 2020

## 陸貝関連

- 『原色日本陸産貝類図鑑』 東正雄, 保育社, 1995
- 『かたつむりの世界』 川名美佐男, 近未来社, 2007
- 『カタツムリハンドブック』 西浩孝・武田晋一, 文一総合出版, 2015
- 『カタツムリ・ナメクジの愛し方 日本の陸貝図鑑』 脇司, ベレ出版, 2020

## 菌類関連

- 『カラー版きのこ図鑑』本郷次雄・幼菌の会, 家の光協会, 2001  
『北海道のキノコ』五十嵐恒夫, 北海道新聞社, 2006  
『増補改訂新版 日本のきのこ』今関六也・大谷吉雄・本郷次雄, 山と溪谷社, 2011  
『新装改版 北海道きのこ図鑑』高橋郁雄・藤倉英幸, 亜璃西社, 2012  
『地下生菌識別図鑑: 日本のトリュフ。地下で進化したキノコの仲間たち』佐々木廣海・木下晃彦・奈良一秀, 誠文堂新光社, 2016  
『アミガサタケ・チャワンタケ識別ガイド』井口潔・忽那正典, 文一総合出版, 2021  
『スタンダード版 新分類キノコ図鑑』前川二郎, 北隆館, 2021

## 植物関連

- 『写真で見る植物用語』岩瀬徹・大野啓一, 全国農村教育協会, 2004  
『北海道の野の花』谷口弘一・三上日出夫, 北海道新聞社, 2005  
『北海道の花』梅沢俊, 北海道大学出版会, 2007  
『カヤツリグサ科入門図鑑』谷城勝弘, 全国農村教育協会, 2007  
『スマレハンドブック』山田隆彦, 文一総合出版, 2010  
『イネ科ハンドブック』木場英久・茨木靖・勝山輝男, 日本農業新聞, 2011  
『日本のスゲ 増補改訂』勝山輝男, 文一総合出版, 2015  
『北海道樹木図鑑 増補新装版 (ALICE Field Library)』佐藤孝夫, 亜璃西社, 2017  
『タンポポハンドブック』保谷彰彦, 文一総合出版, 2017  
『増補改訂 草木の種子と果実: 形態や大きさが一目でわかる』鈴木庸夫・高橋冬・安延尚文, 誠文堂新光社, 2018  
『北海道の草花』梅沢俊, 北海道新聞社, 2018  
『ヤナギハンドブック』吉山寛・茂木透, 文一総合出版, 2019  
『増補改訂 樹木の葉 実物スキャンで見分ける1300種類』林将之, 山と溪谷社, 2019  
『帰化&外来植物 見分け方マニュアル950種』森昭彦, 秀和システム, 2020  
『フィールド版 改訂新版 日本の野生植物I: ソテツ科~コミカンソウ科 (1)』大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩, 平凡社, 2021  
『フィールド版 改訂新版 日本の野生植物II: ミゾハコベ科~スイカズラ科 (2)』大橋広好・門田裕一, 平凡社, 2021

## シダ類関連

- 『シダハンドブック』北川淑子・林将之, 文一総合出版, 2007  
『北海道のシダ入門図鑑』梅沢俊, 北海道出版会, 2015  
『日本産シダ植物標準図鑑 I』海老原淳, 日本シダの会, 学研プラス, 2016  
『日本産シダ植物標準図鑑 II』海老原淳, 日本シダの会, 学研プラス, 2017  
『くらべてわかるシダ』桶川修・大作晃一, 山と溪谷社, 2020

## コケ類関連

- 『原色日本蘚苔類図鑑』岩月善之助・水谷正美, 保育社, 1972  
『日本の野生植物コケ』岩月善之助, 平凡社, 2001



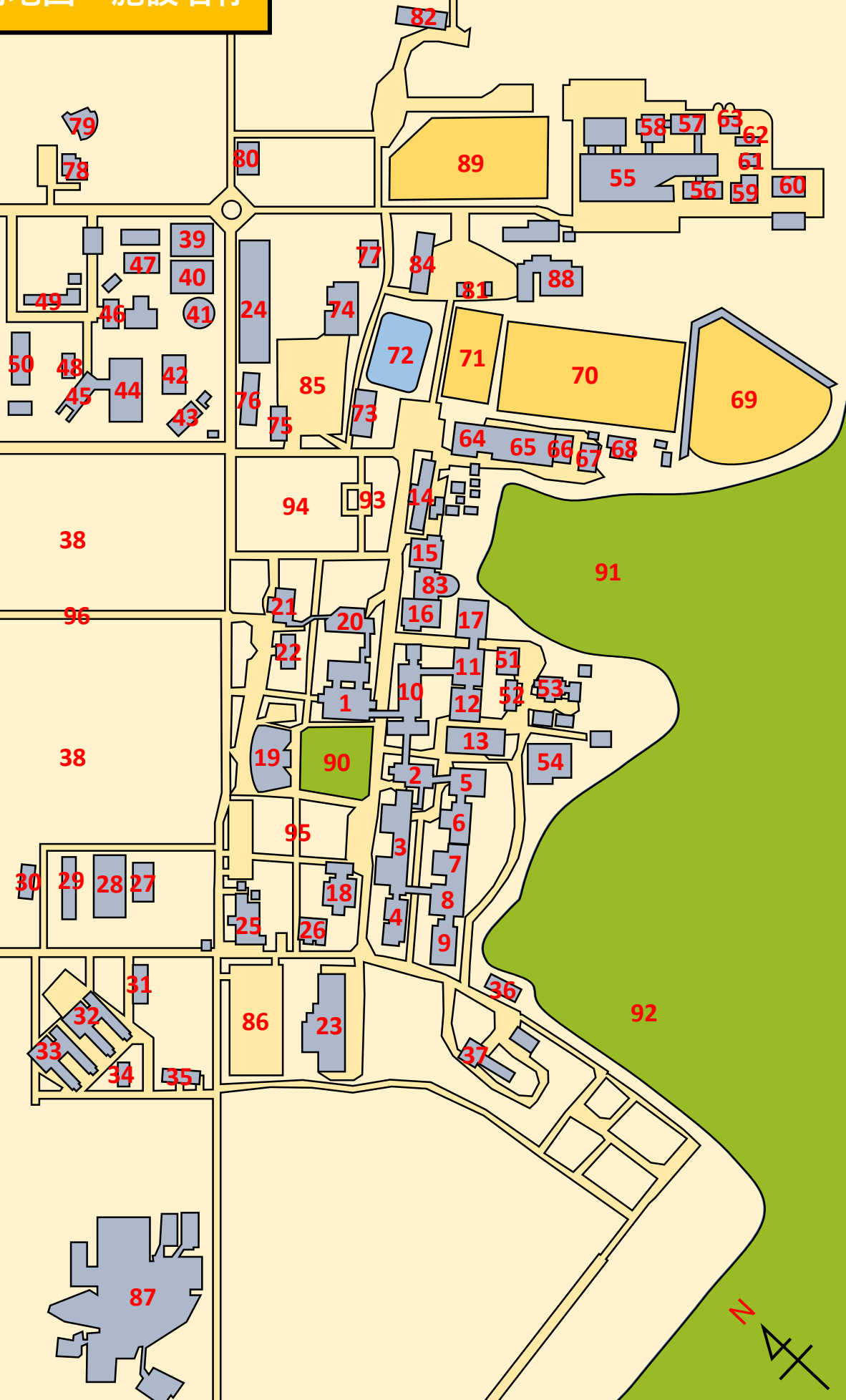
MEMO

# 大学構内地図・施設名称

↑至野幌

国道12号線

至札幌↓



- 1.中央館
- 2.C1号館
- 3.C2号館
- 4.C3号館
- 5.C4号館
- 6.C5号館
- 7.C6号館
- 8.C7号館
- 9.C8号館
- 10.B1号館
- 11.B2号館
- 12.B3号館
- 13.B4号館
- 14.A1号館
- 15.A2号館
- 16.A3号館
- 17.A4号館
- 18.D1号館
- 19.酪農学園ホール
- 20.学生サービスセンター
- 21.本館
- 22.同窓生会館
- 23.希望寮
- 24.清温寮
- 25.乳製品実習室
- 26.食品加工実習室
- 27.フィールド教育研究センター棟
- 28.実習棟
- 29.格納庫
- 30.第一車庫
- 31.農具庫・トイレ
- 32.園芸棟
- 33.作物棟
- 34.堆肥場
- 35.乾燥庫
- 36.農業機械実習室
- 37.圃場温室・実験棟
- 38.粗飼料生産圃場
- 39.乾燥庫
- 40.バンカーサイロ
- 41.スラリータンク
- 42.自動搾乳システム舎
- 43.育成牛舎
- 44.フリーストール牛舎
- 45.搾乳棟
- 46.管理棟
- 47.貯蔵粗飼料研究センター
- 48.哺乳舎
- 49.酪農機械実験・整備センター
- 50.繋ぎ飼い牛舎
- 51.犬舎
- 52.健体解剖室
- 53.R1棟
- 54.動物実験ステーション
- 55.大学附属動物病院
- 56.感染動物管理棟
- 57.実習棟
- 58.臨床講義棟
- 59.野生動物医学センター(WAMC)
- 60.動物処理棟
- 61.乾燥庫
- 62.污水处理施設
- 63.堆肥舎
- 64.健民館1
- 65.健民館2
- 66.健民館3
- 67.合宿所
- 68.健身館
- 69.野球場
- 70.グラウンド
- 71.テニスコート
- 72.成池
- 73.倉庫
- 74.健音館
- 75.学生会館別館
- 76.多目的格納庫
- 77.緑音館
- 78.研修館
- 79.旧静農寮
- 80.中小家畜研究会
- 81.弓道場
- 82.倉庫（旧：大志寮）
- 83.黒澤記念講堂
- 84.スキルスラボ棟
- 85.学生駐車場A
- 86.学生駐車場B
- 87.とわの森三愛高等学校
- 88.とわの森三愛高校（第2校舎）
- 89.高校生グラウンド
- 90.野外礼拝堂
- 91.南縁緑地
- 92.温室前林地
- 93.噴水広場
- 94.噴水広場側ローン
- 95.酪農学園ホール側ローン
- 96.白樺並木

# あとがき

私は学生時代より、仕事や研究に行き詰った時に決まって学内の自然散策に出掛けていました。世間ではこうした行為を「現実逃避」と呼ぶみたいですが、こうした日々の散策を通じて蓄積された数多の生物写真や知見が、この様な立派な書籍として生まれ変わった姿をまじまじと見ていると、逃避行動も案外悪くないものだなあと開き直ってしまいそうです。

本書は元々、マレーシアサバ大学からの留学生の方々に、本学の自然環境を広く知って貰う目的で配布した資料『Nature of Rakuno Gakuen』を前身とし、それらの内容を一般向けに日本語訳し、収録種数やその他のコンテンツを大幅に増やしたものとなります。生物解説の内容こそ、権威ある数々の専門書には遠く及ばないものですが、酪農学園大学の広大な敷地内で観察出来る生物種が、天然色写真付きで600種記載された文献は過去に例は無く、近年の学内の自然を理解する上で本書は大きな手掛かりとなるのではないのでしょうか。また本書は、書名こそ「酪農学園」と冠しておりますが、収録した生物の殆どは隣接する野幌森林公園においても観察することが出来る種類ばかりです。そのため、本学関係者は勿論のこと、普段から野幌森林公園を利用される方々にも、十分にお楽しみ頂ける一冊になったのではと考える次第です。

色々と偉そうなことを書いてしまいましたが、本書は決して私一人の力ではなく、多くの方の協力・支援を受けて作られたものです。環境共生学類学類長の中谷暢丈氏には、本書の企画コンセプトから予算などの事務的なご相談まで全面的なバックアップを頂きました。環境動物学研究室准教授 森さやか氏には、学内で見られる鳥類相の情報や学名表記、専門用語解説に関するご助言、さらには御尊父 森省造氏の撮影された鳥類および哺乳類の生体写真のご提供など多方面でご支援頂きました。環境植物学研究室准教授 松山周平氏、狩猟管理学研究室准教授 伊吾田宏正氏、生物資源保全学研究室准教授 原村隆司氏には、本書に掲載する動植物解説および専門用語解説に関するご助言、図鑑コンセプトのご提言などを頂きました。株式会社ドーコン 石橋佳明氏には、鳥類や昆虫類を中心とした数々の生体写真をご提供頂いた他、本図鑑のコンテンツに関するご助言を頂きました。酪農学園大学元教授 干場敏弘氏には学内に分布する菌類の生体写真ならびに、菌類の用語解説にあたって菌類の生活様式など詳細にご教授頂きました。環境共生学類助手 加藤亜友美氏には哺乳類に関する生体・痕跡写真などのご提供を頂きました。一般社団法人エゾシカ協会の渡邊拓真氏には鳥類の生体写真をご提供頂きました。生態系物質循環研究室内の学生の皆様には、本書の文章校正の面で多くのご協力を頂きました。

最後になりますが、本書に記載した生物の同定は、基本的に金子が行っております。種同定ならびに解説文については、複数の文献記述の照会を行った上でまとめるようにしましたが、明らかな表記ミス、誤同定などがあれば金子までご一報頂きますと大変助かります。また、本書に関する質問、学内の生物に関するお問い合わせもお待ちしておりますので、気軽に環境共生学類実習準備室（B1-221）まで遊びに来てください。本書が皆さんの自然観察の助け、あるいは切っ掛けとなれば、著者としてこれほど嬉しいことはありません。ファンレター待ってます。

## 酪農学園生物図鑑【電子書籍版】

2022年9月15日 印刷発行

著 者 金子命  
編集協力 畑中朋子・石川結子

発 行 酪農学園大学社会連携センター  
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地

印 刷 所 社会福祉法人 北海道リハビリー  
〒061-1195 北海道北広島市西の里507番地1  
TEL 011-375-2116

お 問 い 合 せ 環境共生学類実習準備室  
TEL/FAX 011-388-4754

(非売品)

ISBN978-4-902786-34-7 C3645

イラストおよび写真の無断転載及び複製等の行為はご遠慮下さい。

